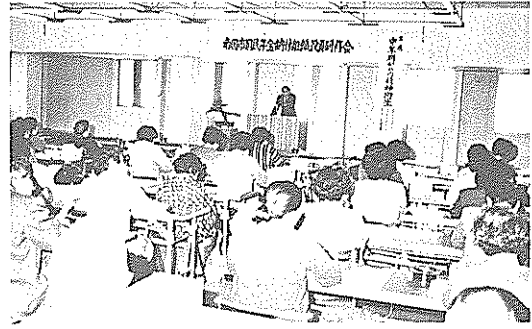


健康問題の講演会も行われた  
国民年金納付組織役員研修会



## 〈大篠地区婦人会〉が 〈土佐清風園〉が チャリティーバザー

今回で六回目を迎えた大篠地区  
婦人会（溝淵佳代子会長）と土佐  
清風園（国沢守道園長）共催のチ  
ャリティーバザーが一月二十九日、



多くの主婦でにぎわったチャ  
リティーバザー

## 新国民 年金制度）などを研修

〈60年度〉  
国民年金納付組織研修会

みんなの老後を支える年金。国民年金保険料の集金など、目こ  
ろ市内各地区で協力を願って  
いる国民年金納付組織役員  
の研修会が一月二十三日、約  
八十人が出席して社会福祉  
センターで開かれました。

まず、小笠原市長のあいさつ

○ 県立精神衛生センター

大篠地区公民館で開かれ、多くの  
主婦でにぎわいました。

出品は、婦人会が呼び掛けて集  
めた日用品、ねぎ、きやべつなど  
の新鮮野菜。清風園から手編みの  
クッション、えり巻きのほか、後  
免の商店からの協力もいただき、

後、県国民年金課の木元長條課長  
が、未加入者の加入対策や未納保  
険料の納入の推進など、当面の業  
務について伝達。南国社会保険事  
務所の島村俊彦課長が、今年四月  
からスタートする新しい国民年金  
のしくみについて説明しました。

続いて、県立精神衛生センター

つるし柿や赤飯、漬け物といろ  
いろな品物が合計千点余り。

午後一時の開店とともに、約  
八十人の主婦が訪れかこいっば  
いに買い物をし、野菜類は瞬く  
間に売り切れ。この日の売り上  
げは、清風園に寄付され、運営  
資金に役立てられます。

## 重熱帯性の珍しい果樹

（ババコウ）実る  
（ペンタゴーナ）

十市の土居好文さん



6月ごろの収穫が楽しみと、土居好文さん

の吉田健男所長が「中年期からの  
精神衛生」と題して講演。ユーモ  
アを交えた楽しい話にメモを走ら  
す役員も見受けられ、みんな  
が制度を理解し合いながら、地域



ぐるみでお互いの老後に備えよう  
と、今後の活動に意欲を燃やして  
いました。

さわやかなスイカの味、珍しい  
亜熱帯高地性果樹「ババコウ・ペ  
ンタゴーナ」が、十市の土居好文  
さんのハウスで実っています。  
ババコウはパイア科の果樹で、  
原産は南米エクアドル。果肉は白  
色で、生食かジュースにして飲む。  
市場にはほとんど出ていませんが、  
ニュージランド産のものを商社  
が輸入し、ホテルや一部のレスト  
ランに少し出回っているだけ。  
農業高校で先生をしていた土居  
さんは、専門誌で知り昨年六月、  
三〇坪余りの苗木百五十本を購入

し、以前メロンを作っていた百五  
十坪のハウスに植えました。花は  
九月ごろから咲き始め、今は高さ  
二メートルの木の幹に直接、五角  
形の実がいくつもついています。  
単為結果なので、すべての花が  
実を結び、一つの木に三十一四十  
個の実がつき、大きさは一斗にも  
なるそうです。  
土居さんは「収穫は実が付いて  
から8カ月ぐらいかかるので、五  
月六月ごろの予定です。どんな味  
がするのか、まず味わってみたい」  
と、収穫を心待ちにしています。